

転院困難の要因

1. 入院の原因・患者の病態
 - ・自殺企図による外傷
 - ・脊椎損傷
 - ・人工呼吸器・気管切開
 - ・医療依存度の低い寝たきり状態
2. 社会背景
 - ・受け入れ医療機関側の対応の変化
(回復期リハビリ転院の制限、リスク回避等)
 - ・独居
 - ・困窮者(身寄りなし、ホームレス、外国人等)
3. 患者・家族の希望との解離
 - ・回復までの医療継続;とくに若年者
 - ・転院先での同じケアや急変時対応

13

精神疾患をもつ外傷患者の受け入れ先

大阪府、2007

総病院数 : 538病院

・療養型病棟、精神病棟、
回復期リハビリテーション病棟のいずれかを持つ
: 279病院 (52%)

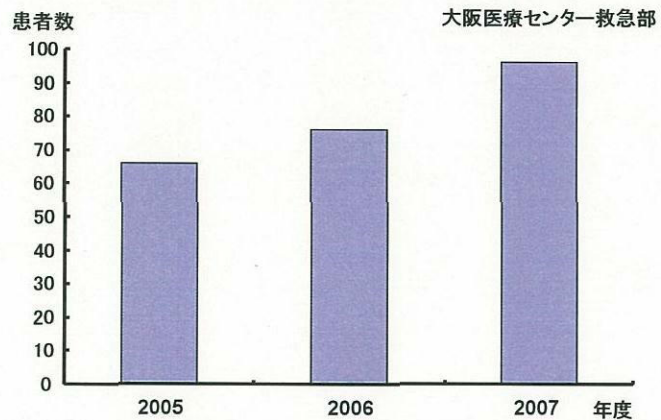
・標榜科:
整形外科+リハビリ科+精神科
: 24病院 (4.5%)

整形外科+精神科
: 2病院 (0.4%)

リハビリ科+精神科
: 7病院 (1.3%)

14

治療費未払い患者数の推移



15

まとめ

患者の転出を阻む要因は救命救急センターの不応需に影響する。

救命救急センターの長期入院患者の増加は直接入院制限につながる。

後方病床での長期入院患者の増加は間接的にセンター稼働に影響する。

救急患者の長期入院には、

受け入れ機関の対応、困窮者増加などの社会背景、患者・家族の考え方の変容など様々な要因が絡んでいる。

16